

令和元年度 かほく市立河北台中学校 学校評価報告書

重点目標	具体的取組	評価の観点	自己評価			達成度 ()内は かほく市	学校関係者評価 による意見	次年度の方向 (改善計画等)
			達成度判断基準 A:目標値 BCD:昨年後期との比較 ()内は昨年度後期の数値	取組状況				
1 ★学力向上ロードマップに基づく確かな学力を持つ生徒の育成	① 河北台授業モデルによる「わかる授業・楽しい授業」づくりの推進	【努力指標】教職員 学習意欲を喚起する課題設定や授業づくりができています	A:100% B:±15%内(95%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 校内研究計画に基づいた取組の実施 ・「河北台授業モデル」に基づいた提案授業の実施 ・ 定期の学校訪問の実施 ・ 授業改善シートと学力調査結果に基づいた教科ヒアリングの実施 ・ 若手教員早期育成プログラムの実施 ・ 指導主事を招いての研究授業の実施 ・ 指導主事を招いての公開授業の実施 ・ 研究紀要の作成 ○ 研究企画委員会の実施 ・ 各学年の課題共有と対策についての協議 ・ 研究授業の検証 ・ 来年度に向けての構想検討	82% B	○今後も、生徒の学力を高めるための工夫改善に努めていって欲しい。	○ 校内研究の充実 ・ 生徒を活かす授業づくり ・ 意欲的な態度な生徒づくり ○河北台授業モデルの徹底	
		【努力指標】教職員 「話し合い」「まとめ」活動を取り入れた授業づくりができています	A:100% B:±15%内(89%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下		77% B			
		【成果指標】生徒 授業の課題はよく分かる	A:95% B:±5%内(96%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		94% B			
		【成果指標】生徒 話し合い活動には積極的に参加している。	A:90% B:±5%内(84%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		87% B			
	② 授業における学習基盤の確立(ベル学、終始の挨拶、姿勢、挙手、話し方、聞き方、説明の仕方等)と家庭学習の習慣化を図る指導の工夫	【努力指標】教職員 授業において、しっかりした礼、返事、聞き方、大きな声などの学習規律を定着させている	A:100% B:±15%内(89%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 学習目標の共通理解と指導の徹底 ・ 毎月の学習目標達成に向けた、各学年のプログラム委員と取組の検討と実践 ○ 学年集会や合同ホームにおける直接指導 ・ テーマ;家庭学習の進め方、講座学習の効果的方法、将来の夢について ○ 2年;生徒の実行委員会による、より良い学習・生活習慣を身に付けるための取組 ○ 1年;家庭学習時間調査の実施 ○ 週間課題の提示と取り組ませ方の指導の工夫 ・ より実態に応じた課題の提示、提示時期の工夫	82% B	○学習計画の立て方など勉強方法の指導を充実させていく(良い勉強方法、効果的な家庭学習の仕方など) ○学習する雰囲気より一層高めていって欲しい。	○ 学習指導の充実 ・ 学習ルールの見直し ○ 家庭学習の習慣化 ・ ネットルールの確立 ・ 週間課題の指導の充実	
		【成果指標】生徒 授業では、しっかりした挨拶、姿勢、聞き方などを心がけている	A:90% B:±5%内(83%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		89% B			
		【努力指標】教職員 生徒の家庭学習の定着及び充実に向けた具体的な方策を講じている	A:100% B:±15%内(84%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下		73% B			
		【成果指標】生徒 自分で計画を立てて勉強している	A:75% B:±5%内(72%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		60% (76%) D			
		【満足度指標】保護者 お子様は、自分で計画を立てて勉強している	A:70% B:±5%内(59%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		68% (71%) B			
	③ 基礎的・基本的な内容の定着と活用力(思考力、判断力、表現力)の向上を図る指導の工夫	【努力指標】教職員 各種テストの分析に基づき、学力補充や授業改善などの方策を講じている	A:100% B:±15%内(89%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 補充学習の実施 ・ 2年;英語を苦手としている生徒を対象とした朝講座の実施 ・ 2年;数学を苦手としている生徒を対象とした朝講座の実施 ・ 1、3年;夏休み補充学習の実施 ・ 2年;受験を意識した講座学習及び小テスト、コーステストの実施 ・ 1年;数学特別朝講座の実施 ・ 3年;朝講座学習の実施 ○ 全校一斉小テストの実施(英単語、漢字) ○ 生徒ラウンジにおける放課後学習(元教員、大学生による学習支援スタッフも配置)	77% B	○学力調査の有効活用 ○河北台授業モデルの徹底		
		【成果指標】生徒 授業がわかりやすい	A:95% B:±5%内(94%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		92% B			
		【成果指標】生徒 授業では、「自分と同じ(違う)」「なぜだろう?」「その根拠は?」など考えながら聴いている	A:80% B:±5%内(77%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		77% B			

令和元年度 かほく市立河北台中学校 学校評価報告書

重点目標	具体的取組	評価の観点	自己評価			達成度 ()内は かほく市	学校関係者評価 による意見	次年度の方向 (改善計画等)
			達成度判断基準	取組状況				
	④ 校内研修会の充実(講師を招聘した授業研究の実践)	【満足度指標】教職員 充実した校内研修会ができています	A:100% B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	○ 若手教員研修会の実施 ・ 教育相談、ICT、人間関係づくり、学校防災、アンガーマネジメント、キャリアガイダンスなどをテーマに研修会を実施	73% D		○計画的な校内研究会の実施	
2 道徳教育や体験活動等を通じた豊かな心を持つ生徒の育成	① ★道徳教育や人権教育の推進(「特別な教科 道徳」授業の充実)	【努力指標】教職員 道徳の授業を確保し、道徳心や人権意識など心の教育に努力している	A:100% B:±15%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 2年;外部人材を交えた道徳授業の実施 甲子園審判の経験談による一斉道徳の実施 ○ 2年;共通道徳の実施 西田幾多郎哲学館の見学及び講話・哲学対話 ○ 1年;次代の親育て事業・子育て講演会の実施 ○ 郡市音楽会への参加 郡市6中学校における合唱交歓会 ○ 弁論大会の実施	82% C	○道徳の授業が意味深いものになっている。今後も充実させていって欲しい。	○外部人材の有効活用	
		【満足度指標】生徒 道徳の時間で自分の日頃の考え方や行動を振り返ることができている	A:90% B:±5%内(88%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		82% B			
	② 職場体験など体験活動と進路指導(キャリア教育)の充実(将来の夢と三年間の見通し)	【努力指標】教職員 体験活動が豊かになるように取り組んでいる	【満足度指標】生徒 将来の夢や目標を持っている	A:100% B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	○ 外部人材を交えた授業や行事の実施 ・ 2年;職場体験の実施 ・ JAが主催する農業収穫体験 ・ 3年;英語・総合(JICA国際交流員を交えた授業の実施「英語によるプレゼン」「SDGsの取組」) ・ 文化祭 生涯スポーツ(ボッチャ、シッティングバレーボールの指導員) 文化教室(フラワーアレンジメント、絵手紙、VR体験) ・ PTA文化部(茶道、匂い袋作り、プラ板キーホルダー作り) ・ 3年;がん教育総合支援事業(文部科学省委託、県指定)がん経験者によるシンポジウム、医師を交えた公開授業 ・ 3年;模擬選挙の実施 市役所総務課の協力による、実際の投票用紙と投票箱を使用している模擬選挙を実施 ・ 2・3年;進路説明会の実施 高校の先生を招いての説明会を実施 ・ 本物に触れる プロの落語家による話し方講座の実施 ・ 3年;市長特別授業の実施 ・ 1年;職業人に学ぶ会の実施 警察官、看護師、花火師、ツアーコンダクター ・ 2年;立志式 進路講話(IT関係会社員) ・ 2年;先輩から学ぶ会(休校のため中止) ○ メスキルヒ学生との交流会の実施	91% B	○外部人材を活用した体験活動が充実している。今後も、活かしていって欲しい。	○外部人材を活用したキャリア教育の指導計画の見直しと充実
				A:80% B:±5%内(74%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		74% (80%) B		
		【満足度指標】保護者 お子様は、将来の夢や目標を持っている	A:70% B:±5%内(64%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	65% (72%) B				
		【満足度指標】生徒 自分には良いところがあるとと思う	A:80% B:±5%内(75%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	77% (83%) B				
	③ 生徒会活動の活性化及び日常的ボランティア活動の推進	【努力指標】教職員 生徒にボランティア活動の積極的な参加を促すなどの推進に努めている	【成果指標】生徒 委員会活動(生徒会)や学級活動に積極的に参加している	A:100% B:±15%内(95%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 運動歳末助け合い募金活動(ショッピングモール) ○ JRC委員の独居老人宅訪問 ○ 地区公民館への清掃活動 ○ 生徒会活動の充実 ・ 体育祭(9.7)□ ・ 文化祭(10.18) 合唱コンクール、総合発表、英語発表 ・ プルタブ、ペットボトル蓋の回収 ・ 学級単位による朝の挨拶 ・ 百人一首大会の実施 ・ 生徒総会の実施	86% B	○体育祭、文化祭と生徒たちはよく頑張っていた。 ○ジュニアボランティア活動が充実している。今後も続け広めていって欲しい。	○奉仕活動への参加協力の継続
				A:90% B:±5%内(87%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		89% B		

令和元年度 かほく市立河北台中学校 学校評価報告書

重点目標	自己評価					達成度 ()内は かほく市	学校関係者評価 による意見	次年度の方向 (改善計画等)
	具体的取組	評価の観点	達成度判断基準 A:目標値 BCD:昨年後期との比較 ()内は昨年度後期の数値	取組状況	達成度			
	④ 読書活動の推進(図書館司書との連携、図書ボランティアの活用)	【努力指標】教職員 読書の充実・図書館の活用に努力している	A:100% B:±15%内(79%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 朝読書の実施 ・ 週1回、読み聞かせサークルによる読み聞かせの実施 ○ 図書ボランティアによる図書室の環境整備 ○ 部活動や授業に関する雑誌の閲覧	77%	B	○居心地のよい図書館づくりに努める。(生徒が読みたくなる選書、季節に応じた環境づくり、図書委員会の活性化)	○図書館司書とのより良い連携
		【成果指標】生徒 様々な機会を通してできるだけ本に親しんでいる	A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満		65%	C		
【満足度指標】保護者 お子様は、読書に親しんでいる	A:60% B:±5%内(53%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	50%	B					
3 ★心身とも健康である生徒の育成	① 食に関する指導の推進	【努力指標】教職員 食育に関する指導・啓発に努めている	A:100% B:±15%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 日頃の給食指導の充実 残量調査、栄養士による巡回指導 ○ 給食づくり体験教室 ○ 保健便り、給食便り、掲示による啓発	100%	A	○栄養士と給食委員会の協力度を高めていく。(栄養士の巡回指導、残量ゼロの活動の充実)	○栄養教諭との連携強化
		【成果指標】生徒 朝食を毎日食べている	A:95% B:±5%内(93%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		93%	B		
		【成果指標】生徒 給食は残さず全部食べている	A:95% B:±5%内(90%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		89%	B		
		【成果指標】保護者 お子様は、朝食を毎日食べている	A:95% B:±5%内(96%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		95%	B		
	② たくましい心を育成する部活動の活性化と体力、運動能力の向上のための取組推進	【努力指標】教職員 部活動で生徒は意欲を高め、充実した活動に取り組んでいる	A:100% B:±15%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 3年;がん教育の先端的な取組 ・ 養護教諭による授業、がん経験者によるシンポジウム、医師を交えた公開授業 ○ 全国大会に向けての取組(加賀地区→県→北信越→全国) 男子卓球部(団体、個人で全国大会出場) 女子ソフトテニス部(個人全国第5位) ○ 新人大会に向けての取組 女子ソフトテニス部(加賀地区団体、個人優勝) 男子卓球部(郡市個人優勝) ○ 冬季大会の取組 女子ソフトテニス部(都道府県対抗代表) 吹奏楽部(県新人戦準グランプリ) ○ 2年思春期講座 助産師を招いての性教育講座を実施 ○ パレット冬季部活動支援 部活動単位で体幹トレーニングやストレッチ等を実施(2回)	86%	B	○指導がだんだんと難しくなってきたが、子どもたちを活かす場としてこれからもよろしくお願ひしたい。	○スポーツ教室の開催
		【成果指標】生徒 部活動や校外活動に高い目標をもって意欲的に取り組んでいる	A:95% B:±5%内(87%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		86%	B		
		【成果指標】保護者 お子様は、部活動や校外活動に進んで参加している	A:95% B:±5%内(87%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		84%	B		
		【成果指標】生徒 体力テストのA及びBランクの割合	A:70% B:±5%内(55%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		47%	C		

令和元年度 かほく市立河北台中学校 学校評価報告書

重点目標	具体的取組	自己評価				達成度 ()内は かほく市	学校関係者評価 による意見	次年度の方向 (改善計画等)
		評価の観点	達成度判断基準 A:目標値 BCD:昨年後期との比較 ()内は昨年度後期の数値	取組状況	達成度			
4 ★積極的生徒指導の より一層の推進	① 生徒指導の三機能を生かした積極的な生徒指導の推進 →学校生活のあらゆる場面で三機能を生かした取組の創意工夫 →人間関係づくりを基盤とした学級経営の充実(構成的グループエンカウンターの実践、QU調査も含めた生徒理解、存在感を高める集団づくり) →いじめ、不登校対策の充実(未然防止、早期発見と早期対応、各種調査の実施と迅速な対応、「いじめ対応マニュアル」に基づく対策と対応の推進)	【努力指標】教職員 生徒理解を大切に、生徒との信頼関係の構築ができています	A:100% B:±15%内(89%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 生活目標の共通理解と指導の徹底 ・ 各月目標の設定とその内容に応じた取組の実施と検証 ○ 自己肯定感を高める「さわやかカード」の記入と掲示 ○ QU調査(生徒意識調査)を活かした生徒理解 ○ 学校生活サポートアンケートの実施と指導支援 ○ 朝の挨拶運動 生徒会執行部、部活動、学級単位で行う玄関での挨拶運動の実施 ○ さわやか賞の表彰(学校生活において、特に品行方正な生徒が受賞) ○ 定期的な生徒理解研修会の実施 ○ 生徒会生活委員会とのタイアップ ○ 危機管理マニュアルの作成と見直し ○ 避難訓練(火事、地震)の実施 ○ 感染症対策の共通理解の場の設定	91% B	○不登校や自殺をする生徒が増えているのは、学校に行くことさえハードルが高く悩んでいると思う。そのような生徒へのケアを慎重に行って欲しい。 ○いじめについては学校だけで解決しようとせず、寄り添っている生徒と共に、いじめの対策と撲滅をすすめていくことを願う。 ○さわやか賞の取組をととても良い。継続して欲しい。 ○小学校との連携は大切である。続けていって欲しい。 ○スクールカウンセラーや市教育センターの有効活用これからも努めていって欲しい。(生徒だけではなく、保護者や教員も)	○生徒との積極的な関わり ○生徒と向き合う時間の確保 ○さわやかカードを生かした指導の充実 ○生徒会活動とのタイアップの強化 ○規範意識の向上のための取組の充実 ○組織体制の見直し	
		【満足度指標】生徒 自分の思いや悩みを聞いてくれる友だちや先生がいる	A:95% B:±5%内(90%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		93% B			
		【満足度指標】保護者 学校は、お子様をよく理解し、指導している	A:90% B:±5%内(79%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		85% B			
		【努力指標】教職員 不登校生徒等の個別の支援計画に基づいた指導を行っている	A:100% B:±15%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下		95% B			
		【努力指標】教職員 生徒の「挨拶」などの基本的な生活習慣の定着を図るための取り組みに参加している	A:100% B:±15%内(84%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下		95% B			
		【成果指標】生徒 河北台中のきまり(校則)を守っている	A:100% B:±5%内(96%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		94% B			
		【満足度指標】保護者 お子様は、学校のきまりを守っている	A:100% B:±5%内(93%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		89% B			
		【努力指標】教職員 問題発生時、関係職員への「報・連・相」など組織的かつ迅速な対応をしている	A:100% B:±15%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下		87% B			
		【満足度指標】保護者 学校は、危機管理や健康安全に留意し、生徒の安全を守るための取組を行っている	A:95% B:±5%内(89%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		88% B			
		② 小学校との積極的な連携(授業・部活動体験、出前授業、学校訪問など)	【満足度指標】教職員 小中連携の内容が充実している		A:100% B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満			○ 夏休みにおける小学校への学習ボランティアの実施 ○ 小中連携協議会の実施(授業参観、分科会) ○ 小6児童への出前説明会の実施 入学までに身に付けて欲しいことの指導 ○ 小6児童入学説明会、保護者説明会の実施
③ 教育相談体制の充実 →支援が必要な生徒、不登校生徒への具体的な対策と実践(個別記録の積み重ね) →スクールカウンセラー、心の教育相談員など関係機関との連携	【努力指標】教職員 不登校生徒等の個別の支援計画に基づいた指導を行っている	A:100% B:±15%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 不登校生徒への支援の継続 ・ すまいる(市適応指導教室)の活用 ・ 学級担任による家庭訪問の実施とつながりを持つための取組の実施 ○ スクールカウンセラーや心の相談員によるカウンセリングの実施 ○ QU調査(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の実施	95% B				

令和元年度 かほく市立河北台中学校 学校評価報告書

重点目標	具体的取組	評価の観点	自己評価			達成度 ()内は かほく市	学校関係者評価 による意見	次年度の方向 (改善計画等)
			達成度判断基準	取組状況				
5 特別に支援が必要な生徒への指導の充実 (特別支援教育の充実)	① 支援が必要な生徒の共通理解と指導及び保護者との連携の強化	【努力指標】教職員 生徒理解研修会などをもとに支援が必要な生徒と適切に関わった	A:100% B:±15%内(94%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 関係機関と連携を図りながらの指導の実施 ・ ケース会議の実施(子ども支援のための協議) 市子ども総合センター職員、児童相談所、福祉課職員 ・ 特別支援学校に所属する専門家による授業参観と保護者との相談会の実施	100% A	○気になる子への指導は学校だけでかかえず、様々な専門機関を活用しながら、進めていって欲しい。	○支援が必要な生徒への共通理解の徹底	
		【努力指標】教職員 保護者の協力が得られるよう家庭との連絡等の情報交換は確実にやっている	A:100% B:±15%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下		95% B			
	② コーディネーターを中心とした研修体制の充実と地域支援室や巡回相談など関係機関との連携	【努力指標】教職員 生徒の障害の程度やつまずきに応じた適切な関わり方ができている	A:100% B:±15%内(94%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	○ 地域支援室の有効活用 ○ 特別支援学校希望者の体験入学の実施	91% B			○地域支援室などの関係機関との連携と有効活用
		【努力指標】教職員 地域支援室など関係機関が有効活用されている	A:100% B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満		86% B			
6 開かれた学校づくりと働き方改革	① コミュニティ・スクール制度の積極的な活用	【満足度指標】教職員 コミュニティ・スクール制度が有効活用されている	A:100% B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	○ 外部人材の活用 図書読み聞かせ、ホテルサービスマン、製菓会社員、地域の名士、JA職員、JICA国際交流員、消防士、地域の体育文化指導員、落語家、助産師、警察官、看護師、花火師、ツアーコンダクター、学習支援スタッフ(元教員、大学生)	95% B	○今後も外部人材を有効活用していきましょう。	○外部人材の有効活用	
		② 学校便りやホームページ等を通しての積極的な情報発信	【成果指標】生徒 学校からの各種「〇〇たより」などの配布物は、確実に家の人に渡している					
	③ ★教職員の働き方改革推進	【成果指標】保護者 学校だよりや学年だより、ホームページ等で、学校の指導方針や子どもたちの様子などがわかりやすく伝わっている	A:95% B:±5%内(94%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	○ 学校便りにおけるいじめ防止のための取組についての情報提供	91% B			
		【満足度指標】保護者 学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってくる	A:80% B:±5%内(63%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下		69% (78%) B			
		【成果指標】教職員 勤務時間外時間の比較	A:月80時間以上ゼロ B:H29より20%以上減 又は H30より10%以上減 C:H29より10%以上減 又は H30より5%以上減 D:C基準未満	○ 実際の時間外勤務平均時間 4～2月の平均 R1;65.1←H30;66.0←H29;84.3 H29より22.7%減 H30より1.4%減	B	○今後も、業務の分散化、部活動指導員の有効活用などにより一層努めていって欲しい。	○業務内容の見直し	